

The 2 Chome Times 2021年3月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO274.

2021・3月・25日

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス3月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★岡山県立美術館「雪舟と玉堂—二人の里帰り」展に行ってまいりました

この企画展は、室町時代に岡山県総社市当たりの出身禅僧・雪舟と岡山市北区あたり出身で江戸時代に琴を奏でた文人・浦上玉堂の二人展で、雪舟生誕600年と玉堂没後200年を記念して、日本史上で燦然と輝く巨匠二人に揃って「里帰り」してもらおうというこれまでにない企画展です。特に今回は門外不出の名宝である雪舟「四季山水図巻」(国宝・毛利博物館)を特別に展示し、国宝7点を含む160点を展観し、2人の意外な共通点が明らかになるとともに、水墨画の神髄に触れることのできるすばらしい企画展という事で行ってまいりました。実際に入館



して今までになく感心したことは、各作品にまるで小学生でも理解できるコメントが添付され、また、門外不出と言われている国宝「四季山水図巻」はとくにフューチャーされていて壁一面にコピーされ拡大された作品の数か所ごとに説明文があり大変わかりやすく画期的な展覧会だったと感じています。緊急事態宣言の中多くの来館者があったことは言うまでもありません。残念ながらこの3月号が発刊される時には岡山での展覧会は終了しています。

もしどこかで同じような作品が閲覧されるようなことがあれば是非お勧めいたします。

★第16期 ストリートミュージアム準備着々

2月6日に予定していた三宮センター街2丁目 ストリートミュージアム収蔵式典は、4月10日に延期さ



れることになりましたが、収蔵の準備は着実に進んでいます。今回で16作品目になり、収蔵作業をしてきているチームの皆さんも手慣れた様子。それでも、毎年新しいアートが収蔵されるため、収納ケースのサイズや収蔵の仕方が異なり、全てオーダーメイドで準備されていて、独特の緊張感が漂う



中、作業が進んでいきます。作品の上を覆うガラスはポリカーボネートを強化ガラスで挟んだ特注品で、作製に2ヶ月掛かるそうです。約5cmの厚みで、通行される方はもちろん、車両が載ってもビクともしません。しかも抜群の透明度で、設置された状態を見ると、これほど分厚いとは、とても思えません。収蔵作業と並行して、これまでの作品もメンテナンスが行われました。左の職人さんは今回の収蔵で引退されるそうです。長い間、2丁目のストリートミュージアムを支えて下さりありがとうございました。伊賀の陶芸家 谷本 景 氏の作品が、どんなふう



に収蔵されるのか、4月10日のお披露目まで、もうしばらく楽しみにお待ちください。

★2丁目商店街振興組合のホームページがリニューアルされました！

永年の懸案事項であった2丁目商店街振興組合のホームページのリニューアルが完成しました。藤井理事が中心になり、どうすればこの情報社会においてその閲覧される方々に効率よく街の情報をお示しできるのかを知恵を絞って改革がなされています。以前に比べてより見やすく、そしてタイムリーに各店舗の新鮮な情報を各店舗自身で更新ができ、街の象徴であるアート作品もより詳しい説明が閲覧できるようになりました。皆様には3月29日(月曜日)に情報更新の方法を説明させて頂く予定になっています。勿論、これからも改善点が見つければその都度細かく見直しを考えていきますので、皆様も早い段階で是非、私達のホームページにアクセスして下さいね。 “三宮センター街2丁目”で検索！

★ファースト勉強会 「辛基秀 (シンギス) 朝鮮通信使に掛ける夢」を読んで考える

今月の勉強会では辛基秀氏監修の映画「江戸時代の朝鮮通信使」という短編映画を鑑賞しました。現在、



日本と韓国の間には根深い誤解などがあり、難しい政治的問題が存在しますが、過去を振り返ると、江戸時代にはその二百四年間に亘って朝鮮から十二回友好の使節として朝鮮通信使が来日しました。これは豊臣秀吉の二度の朝鮮侵略を反省する形で徳川家康が始めたものです。朝鮮半島に生まれ、生後まもなく京都へ移った在日コリアン二世の辛氏は1910年の韓国併合などによる「過去の負の遺産」の検証作業をするると同時に未来志向的な関係を構築するために朝鮮通信使の記録を整理し、不幸な過去を克服しようとされた方です。江戸幕府がどれ程手厚く、多額の資金を投じ、誠信の交わりを通じて友好的な関係を維持しようとしていたかがこの映画からは読み取ることが出来ました。韓国



国が一番近い隣国で在日の方々も本当に多数おられます。お互いにマイナス思考ではなくプラス思考が必要なのは間違いがありませんし、また還流ブームの時のような友好的な関係が構築される事を願っています。この「朝鮮通信使」にご興味のある方は2丁目事務所に上野敏彦氏が執筆された「辛基秀 朝鮮通信使に掛ける夢～世界記憶遺産への旅」がありますので読んでみて下さい。

★編集後記

大阪府と京都府、そして兵庫県の緊急事態宣言が解除されました。それが適切な時期なのかどうかは意見が分かれますし、正解が果たして存在するのも難しいところですね。ただ「解除」という結果がでた以上、細心の注意を払いながら、経済活動を進めていかなければなりません。明るいニュースはワクチンの接種が始まったことです。果たしていつ自分にその順番が回って来るのか、どこかもどかしい気持ちも残りますし、それ以前に色々な制約があるにせよ国内の製薬会社がワクチンの開発が出来なかったことが残念でもあります。これ程日本では、医療が発達し、科学技術が進歩しているにもかかわらずです。やはり日本は戦後の平和な時間を謳歌し過ぎてしまい、危機対応の進め方を間違ってきたのかもしれない。

私達の街ではコロナワクチンが手に入り次第、インフルエンザワクチンと同様に、出来るだけ多くの組合員の方々に接種して頂こうと考えております。

勿論、今年だけではなく、この先何年にも亘ってウイルスの脅威が鎮まるまで実行していきたいと思えます。ワクチンそのものに対する一種の恐怖感が残っている方でも出来るだけ早く受けて頂き、全体での免疫力が高まれば脅威が減少します。皆様もワクチン接種に向けて心の準備をお願いします。

